

子ども未来会議（どさんこ☆子ども地区会議）を開催

10/22(土)、「子ども未来会議」をオンラインで開催しました。会議には、石狩管内の小、中、高等学校 18 校の児童生徒 58 名が参加し、千歳高校、北広島高校の生徒の皆さんの運営のもと、「いじめのない学校にするために、自分たちで取り組めることは何か」をグループに分かれて話し合いました。会議では、それぞれのグループが考えた「いじめのない明るい学校にするために、今後、学校やクラス、個人でできること」のベスト・アイデアが提案されました。石狩管内の小、中、高、特別支援学校では、提案されたベスト・アイデアを参考にして「いじめのない明るい学校づくり」に取り組みます。

子ども未来会議（R4石狩管内どさんこ☆子ども地区会議）

「いじめのない学校」にするための

ベスト アイデア Best Idea

グループ	1人でできること	2人でできること	みんなでできること
①	相手がどう思うか、よく考えて行動する。	周りの雰囲気良くなるように、挨拶をする。	みんなで積極的に会話して、いじめが起こらない空気をつくる。
②	言動や行動する前に一度考え、相手を思いやる行動をとる。	2人で相談し、知恵を出し合い、視野を広げ、いじめに対して行動する勇気をもつ。	いじめについて、みんなで考える機会をつくる。
③	自分は、「いじめ」をしないという意識をしっかりともつ。	お互いの良いところ、悪いところを理解し、リスペクトしあう。	みんなが見えるところに大きな紙を貼り、みんなで友達に言われてうれしかったことを書いて貼る。
④	孤立している人に声をかけ、その人にとっての心の支えになる。	2人で仲良くする。	行事などで団結して盛り上がる雰囲気がある、居心地の良いクラスにする。
⑤	1人の気づきがみんなの気づきになるように、独りになっている人がいないか気をつける。	いじめの理由が分かるように、困ったことを相談し合う。	みんなで助け合って、お互いに絆を強める。
⑥	少数意見の良いところを見つけ、尊重する。	2人で相談して、いじめられている人に寄り添う。	学校やクラスで集会を開き、いじめがダメだと言うことをみんなに知らせる。
⑦	気軽に友達が不快になる言葉を発しないように、自分の言動に責任をもつ。	友達がいるんだという安心感につなげるために挨拶をする。	いじめに関する行事を通して、全校生徒がいじめはダメだと言うことを再確認する。
⑧	相手の立場になって、自分が嫌なことを相手にしない。	ウワサを簡単に信じて広めない。	第三者の客観的な目線で自分たちの状況を把握する。

参観者からのメッセージ

北海道札幌あいの里高等支援学校 西牧 孝徳 校長先生
(石狩管内地域いじめ問題等対策連絡協議会構成員/北海道特別支援学校長会石狩支部長)

会議の様子を、石狩管内地域いじめ問題等対策連絡協議会構成員、保護者、学校関係者、家庭教育サポート企業の方など、多くの方が参観しました。

誰にでも得意なこと、苦手なことがあると思います。それを理解して、「困っているかな」と感じたら、助けてあげてほしいと思います。言葉をかけてもらうだけでも安心できるということもあります。また、空気を読むということ、雰囲気を感じるということが当たり前のように言われることがありますが、「空気を読むこと」、「雰囲気を感じること」が苦手な人もたくさんいます。苦手な人もいるんだということも理解してほしいと思います。経験不足でそれがわからない人もいます。できないことを笑うのではなく優しく教えてあげてほしいと思います。

今日のいろいろな話し合いの中で、相手の立場に立って考えること、自分が嫌なことは相手にしないことといった、とても大事なところを話し合われていたのが、とてもうれしく感じました。みなさんの「想い」がどんどん広がっていき、本当に「いじめ」のない、誰もが安心して学べる学校になっていくと感じました。



【お問合せ】

北海道教育庁石狩教育局
担当：教育支援課社会教育指導班
Tel：011-204-5879
E-mail：ishi1453@pref.hokkaido.lg.jp

